

教育学部 教育学科

教育学部教育学科の特徴と構成

教育学部教育学科は、教育学・保育学・心理学・社会福祉学の学問体系の理解を基に、学校・家庭・地域における教育・保育・福祉を主体的に創造する能力と態度を身につけた人材の養成を目的として、幼児教育専攻・児童教育専攻・健康教育専攻の3専攻をもって構成する。現場に幅広く対応できる資質を培うため、専攻を越え科目を履修できるものとする。(ただし、専攻以外の科目については、卒業要件単位にはならない)

教育学科 幼児教育専攻

1 専門教育科目の構成

1. 教育学科幼児教育専攻の教育目的

教育学科幼児教育専攻では、教育学・保育学の学問体系の理解の基に、学校教育や児童福祉、相談援助、発達支援等に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を基盤として、それらを現場で活用することができる総合的な実践能力を備えるとともに、生涯にわたり資質・能力の向上を図るために必要な基盤となる基礎的な研究能力を有して、教育・保育・福祉の実践活動の推進と向上に貢献する人材を養成する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要な役割を果たす幼児教育は、優れた専門性を持ったスペシャリストによって実践されることが強く期待されている。一方で、現在の日本の幼児教育及び子育て環境は、多くの課題を抱えており、それらの解決に寄与できる人材も必要とされている。こうした現状を直視し、広い視野に立って、課題に取り組むことのできる人材を育成することを目的として優れた実践力、研究力を有した実践者を育成するための学習を体系的に行う。

2. 教育学科幼児教育専攻の特徴

教育学科幼児教育専攻では、今日の幼児教育の実情を踏まえた教育学、保育学、心理学、福祉学の理論的な学習と現場での実践的な体験学習をベースに、特別支援教育、健康教育などについての学習も含めて教育とその実践を段階的かつ多面的に学び、実践者としての専門性と実践力を高めていく。

授業はクラス単位で開講するが、演習や実技中心の授業は、グループ単位で開講し、3、4年次に開講するゼミナールは、各自の関心と専門性を深める学習と研究の仕上げとして少人数のグループで開講する。

3. 教育課程の特色

● 教育学科幼児教育専攻カリキュラム

部門	主な内容	開設年次
基礎科目	教育学の基礎と学びの意味	1年次
基幹科目	専攻の学びの柱となる学び	1年次
幼児教育科目	幼児教育の理論と実践	2～4年次
保育科目	保育の理論と実践	
心理科目	心理学の理論	
福祉科目	福祉学の理論と実践	

実習科目	幼児教育・保育の体験的学習	2～4年次
ゼミナール	少人数による研究的体験的学び	3、4年次
卒業研究		

教育学科としての「基礎科目」として位置づけられた5科目は、学問としての「教育学」を幅広く学び、教育を学ぶことの意味をとらえる科目として位置づけている。これらの学びを受けて、「基幹科目」においては、専門的な学習の柱となる学びと体験を目的とした科目を選択履修する。

「幼児教育科目」「保育科目」「心理科目」「福祉科目」「実習科目」は、それぞれの専門分野の学習と実習であり、免許、資格を取得し、それらの専門分野を深く学ぶための科目である。

「ゼミナール」「卒業研究」では、研究・実践活動を通して、分析力、考察力、プレゼンテーション能力などを養い、4年間の学びの集大成とする。

2 履修方法

◆ 卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計124単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は32単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

● 必修科目 (計32単位)

- 1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎A」、「リベラルアーツ基礎B」、「情報処理」、「体育実技」
- 2年次：「英語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎D」、「リベラルアーツ総合A」、「体育講義」
- 3年次：「リベラルアーツ総合B」
- 4年次：「リベラルアーツスタディーズB」

● 選択科目

- 2年次：「リベラルアーツ基礎C」
- 3年次：「リベラルアーツスタディーズA」

● 自由科目 (卒業要件単位に含まれない)

- 1年次：「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」
- 1～4年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スポーツ」
- 2～3年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
- 3～4年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」
- 3年次：「日本国憲法」
- 4年次：「キャリア形成論」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 92 単位以上を履修すること。

- ①基礎科目 3単位履修
- ②基幹科目 必修1単位を含め5単位以上履修
- ③ゼミナール 6単位履修
- ④卒業研究 8単位履修

1. キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり登録できる単位数は、前期、後期それぞれ 28 単位、通年で 48 単位を超えてはならない。

2. 学外実習の履修要件

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、社会福祉士受験資格を取得するには、それぞれの現場での実習科目を履修しなければならない。実習科目を履修するには、それに関わる予備知識や技能が必要になる。

したがって、学外実習の履修要件は、実習科目を履修するための科目を修得済み、あるいは同時期に履修しなければならない(次頁の表1参照)。

3 取得できる免許と資格

●取得できる資格・免許

幼稚園教諭一種免許状
保育士資格
認定心理士資格
社会福祉士国家試験受験資格
任用資格*

なお、実習科目を履修するための履修要件については、表1を参照のこと。

- ・認定心理士と社会福祉士の受験資格を同時に取得することはできない。
- ・社会福祉士受験資格を取得しようとする場合は、1年次から履修しておくべき科目があるので、学生便覧 P143 を参照し、履修すること。また、3年次から始まるゼミナールについては、ゼミ担当教員のうち、社会福祉士養成課程を担当する教員のゼミを取ること。
- ・認定心理士資格を取得しようとする場合は、1年次から履修すべき科目があるので、学生便覧 P144 を参照し履修すること。また、3年次から始まるゼミナールについては、ゼミ担当教員のうち、心理科目担当の教員のいずれかのゼミを取ること。

*任用資格：知的障害者福祉司、社会福祉主事、生活支援員、生活相談員、児童指導員、児童福祉司、児童自立支援専門員

なお、知的障害者福祉司任用資格は、保育士資格または社会福祉士国家試験受験資格のいずれかの必要科目を修得すれば取得できる。社会福祉主事任用資格、生活支援員任用資格、生活相談員任用資格、児童指導員任用資格は、幼児教育専攻卒業要件を満たせば取得できる。児童福祉司任用資格、児童自立支援専門員任用資格は卒業後1年以上の実務経験後に取得できる。

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目
・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必修	◎
選択必修 (複数の科目から指定の単位数を必ず選択する)	○
選択 (卒業要件単位)	△
自由 (卒業要件単位には含まれない)	◇

●表1 実習の条件となる科目

資格・免許	実習科目	事前に修得していなければならない科目	事前または同時期に履修しなければならない科目
幼稚園教諭一種免許状	幼児教育実習Ⅰ (2年次9月頃)	「専門基礎演習」「教育原理(幼)」「教育心理学(幼)」「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と音楽表現」「幼児と造形表現」のうち8科目以上	幼児教育実習指導Ⅰ 「保育内容総論」「保育内容(健康)の指導法」「保育内容(人間関係)の指導法」「保育内容(環境)の指導法」「保育内容(言葉)の指導法」「保育内容(音楽表現)の指導法」「保育内容(造形表現)の指導法」のうち6科目以上
	幼児教育実習Ⅱ (3年次9月～10月頃)	幼児教育実習Ⅰ、教育課程論(幼)、教職概論(幼)	幼児教育実習指導Ⅱ、教育相談(幼児理解の理論および方法を含む)、教育制度論(幼)、教育方法論(幼)
保育士資格	保育実習Ⅰ (2年次12月頃)	専門基礎演習、保育原理、教育原理(幼)、社会福祉概論、子どもの保健、子どもの食と栄養	保育実習指導Ⅰ 「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と音楽表現」「幼児と造形表現」「保育内容総論」「教育課程論(幼)」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」のうち9科目以上
	保育実習Ⅱ (3年次6月頃)	保育実習Ⅰ、子どもの健康と安全、保育の心理学	保育実習指導Ⅱ 「保育内容(健康)の指導法」「保育内容(人間関係)の指導法」「保育内容(環境)の指導法」「保育内容(言葉)の指導法」「保育内容(音楽表現)の指導法」「保育内容(造形表現)の指導法」「子どもの理解と援助」のうち6科目以上
	保育実習Ⅲ (3年次8月～9月頃)	子ども家庭福祉、保育実習Ⅰ、子どもの健康と安全、保育の心理学、社会的養護Ⅰ	子どもの理解と援助、保育実習指導Ⅲ、社会的養護Ⅱ
社会福祉士受験資格	ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワーク論Ⅰ、ソーシャルワーク論Ⅱ、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ、社会福祉現場実習指導	ソーシャルワーク方法論Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	ソーシャルワーク方法論Ⅰ、ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワーク方法論Ⅱ、ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ

◆教育実習の履修要件

教育現場で実習を行うには、そのための最低限の知識や技能は身につけておく必要がある。教育実習を履修するにあたっては、必要な科目を修得していることが条件となる。また、学科による審査を経て、実習の可否を決定する。上表の要件を満たさない場合は、教育実習を行うことはできない。

5 教育課程表

教育学科 幼児教育専攻 教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士	
M G U S T A N D A R D 科目	◎	キリスト教 学	2	2						◎				
	◎	基礎 演 習	2	2										
	◎	日 本 語 演 習	2	2										
	◎	女 性 と 人 権	2	2										
	◎	自 然 科 学 人 門	2	2						◎				
	◎	音 楽 の 世 界	2	2						◎				
	◎	英語コミュニケーション I	1	1						◎	◎			
	◎	英語コミュニケーション II	1	1						◎	◎			
	◎	英語リテラシー I	1		1									
	◎	英語リテラシー II	1		1									
リベラルアーツ 基礎科目	◎	リベラルアーツ 基礎 A	2	2				可						
	◎	リベラルアーツ 基礎 B	2	2				可						
	△	リベラルアーツ 基礎 C	2		2			可						
	◎	リベラルアーツ 基礎 D	2		2			可						
	◎	リベラルアーツ 総合 A	2		2			可						
	◎	リベラルアーツ 総合 B	2			2		可						
	△	リベラルアーツ スタディーズ A	2			2		可						
	◎	リベラルアーツ スタディーズ B	2				2	可						
キャリア科目	◇	キャリア形成論	2				2							
	◎	情報処理	2	2						◎	◎			
	◇	日本国憲法	2			2					◎			
外国語	◇	ドイツ語コミュニケーション I	1	1										
	◇	ドイツ語コミュニケーション II	1	1										
	◇	ドイツ語リテラシー I	1	1										
	◇	ドイツ語リテラシー II	1	1										
	◇	フランス語コミュニケーション I	1	1										
	◇	フランス語コミュニケーション II	1	1										
	◇	フランス語リテラシー I	1	1										
	◇	フランス語リテラシー II	1	1										
	◇	中国語コミュニケーション I	1	1										
	◇	中国語コミュニケーション II	1	1										
	◇	中国語リテラシー I	1	1										
	◇	中国語リテラシー II	1	1										
	◇	スキルアップ 英語	1			1		可						
	◇	スキルアップ ドイツ語	1			1		可						
	◇	スキルアップ フランス語	1			1		可						
	◇	スキルアップ 中国語	1			1		可						
	科目	◇	実践 フランス語 I	2		2			可					
		◇	実践 フランス語 II	2			2		可					
◇		実践 中国語 I	2		2			可						
◇		実践 中国語 II	2			2		可						
科目	◎	体 育 実 技	1	1						◎	◎			
	◎	体 育 講 義	1		1					◎	◎			
	◇	シーズン スポーツ	1			1		可						
	◇	ス ポ ー ツ	1			1		可						

教育学科
幼児教育専攻

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
基礎科目	○	教育と共生社会	1	1					}1単位以上選択必修				
	○	教育と伝統文化	1	1									
	○	教育と「学び」	1	1									
	○	教育と現代社会	1	1									
	◎	キリスト教教育論	2	2									
専幹科目	◎	キャリアデザイン	1	1									
	○	心理学概論	2	2					}4単位以上選択必修			◎	◎
	○	社会福祉概論	2	2						◎	△		
	○	子どもの保健	2	2						◎			
	○	学校臨床研究Ⅰ	1			1		可					
	○	学校臨床研究Ⅱ	1			1		可					
△	特別支援教育論	1		1							◎		
幼児教育科目	◎	教職概論(幼)	2		2					◎	◎		
	◎	教育原理(幼)	2	2						◎	◎		
	◎	教育制度論(幼)	2			2				○	◎		
	◎	教育心理学(幼)	2	2						○	◎	◎	
	◎	教育課程論(幼)	2		2					◎	◎		
	◎	教育方法論(幼)	2			2				○	◎		
	△	発達心理学	2	2						○	△	○	
	△	幼児と健康	1	1						○	◎		
	△	幼児と人間関係	1	1						○	◎		
	△	幼児と環境	1	1						○	◎		
	△	幼児と言葉	1	1						○	◎		
	△	幼児と音楽表現	1	1						○	◎		
	△	幼児と造形表現	1	1						○	◎		
	△	教育史	2	2							△		
	△	保育内容総論	1		1					◎	◎		
	△	保育内容(健康)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育内容(人間関係)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育内容(環境)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育内容(言葉)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育内容(音楽表現)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育内容(造形表現)の指導法	2		2					◎	◎		
	△	保育実践研究	2				2			○	△		
	△	障害児保育	2				2			◎			
	△	基礎ピアノ	1	1				可		○	△		
	△	教育相談(幼児理解の理論および方法を含む)	2			2					◎	○	
	△	教職実践演習(幼)	2				2			◎	◎		

教育学科
幼児教育専攻

教育学部
教育学科
幼児教育専攻

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
専攻 目	△	保育原理	2	2						◎			
	△	子ども家庭福祉	2	2						◎	△		◎
	△	社会的養護 I	2		2					◎			
	△	保育の心理学	2		2					◎		○	
	△	子どもの健康と安全	1		1					◎	△		
	△	子どもの食と栄養	2	2						◎			
	△	子ども家庭支援論	2				2			◎		○	
	△	乳児保育 I	2		2					◎			
	△	乳児保育 II	1		1					◎			
	△	社会的養護 II	1			1				◎			
	△	子ども家庭支援の心理学	2				2			◎		○	
	△	子育て支援	1			1				◎	△		
	△	子どもの理解と援助	1			1				◎			
	△	子どもと音楽	2		2					◎	△		
△	子どもと造形	2			2				◎	△			
△	子どもと身体表現	2			2				◎	△			
教 科 目	△	心理学研究法	2			2						◎	
	△	心理統計法	2		2							◎	
	△	学習心理学	2			2						○	
	△	認知心理学	2				2					○	
	△	臨床心理学	2			2				○		○	
	△	乳幼児心理学	2		2					○	△	○	
	△	児童青年心理学	2		2					○	△	○	
	△	生理心理学	2		2							○	
	△	家族心理学	2				2			○	△	○	
	△	カウンセリング法概説	2			2						○	
育 福 社 科 目	△	医学概論	2			2							◎
	△	社会学	2		2								◎
	△	社会福祉原論	2				2						◎
	△	社会福祉政策論	2				2						◎
	△	社会福祉調査法	2			2							◎
	△	ソーシャルワークの基盤と専門職	2		2								◎
	△	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2				2						◎
	△	ソーシャルワーク論 I	2		2					○	△		◎
	△	ソーシャルワーク論 II	2			2				○	△		◎
	△	ソーシャルワーク方法論 I	2			2							◎
	△	ソーシャルワーク方法論 II	2				2						◎
	△	地域福祉とコミュニティソーシャルワーク I	2			2							◎
	△	地域福祉とコミュニティソーシャルワーク II	2				2						◎
	△	福祉運営管理論	2				2						◎
	△	社会保障論 I	2		2								◎
	△	社会保障論 II	2		2								◎
	△	高齢者福祉論	2			2							◎
	△	障害児・者福祉	2			2				○	△		◎
	△	公的扶助論	2			2							◎
	△	医療ソーシャルワーク論	2			2							◎
△	権利擁護と成年後見	2				2						◎	
△	司法福祉論	2				2						◎	
△	ソーシャルワーク演習	2		2					○	△		◎	
△	ソーシャルワーク演習(専門) I	2		2								◎	
△	ソーシャルワーク演習(専門) II	2			2							◎	
△	ソーシャルワーク演習(専門) III	2				2						◎	
△	ソーシャルワーク演習(専門) IV	2				2						◎	

部門	卒業要件	授 業 科 目	単 位	開設年次および単位				再 度 履 修	備 考	免 許 ・ 資 格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定 心理士	社会 福祉士
専 門 教 育 科 目	△	保 育 実 習 指 導 I	1		1					◎			
	△	保 育 実 習 I	2		2					◎			
	△	保 育 実 習 指 導 II	1			1				◎			
	△	保 育 実 習 II	2			2				◎			
	△	保 育 実 習 指 導 III	1			1				◎			
	△	保 育 実 習 III	2			2				◎			
	△	幼 児 教 育 実 習 指 導 I	1		1						◎		
	△	幼 児 教 育 実 習 I	1		1						◎		
	△	幼 児 教 育 実 習 指 導 II	1			1					◎		
	△	幼 児 教 育 実 習 II	3			3					◎		
	△	心 理 学 基 礎 実 験 I	2			2						◎	
	△	心 理 学 基 礎 実 験 II	2			2						◎	
	△	社 会 福 祉 現 場 実 習 指 導	1		1								◎
	△	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 I	1			1							◎
	△	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 I	1			1							◎
	△	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 II	1				1						◎
	△	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 II	5				5						◎
	科 目	◎	専 門 基 礎 演 習	2	2								
◎		専 門 演 習 I	2			2						○	
◎		専 門 演 習 II	2			2						○	
◎		卒 業 研 究 演 習 I	2				2					○	
◎	卒 業 研 究 演 習 II	2				2					○		
◎	卒 業 研 究	4				4					○		
計		一 般 教 育 科 目	66										
		専 門 教 育 科 目	203										
		合 計	269										

教育学科
幼児教育専攻

教育学科 児童教育専攻

1 専門教育科目の概要

1. 教育学科児童教育専攻の教育目的

教育学科児童教育専攻では、初等教育を中心にしながら、中等教育（英語）と特別支援教育に携わる教員の育成を目的とする。幼児期と児童期の連続性を踏まえ、理論と実践の融合を目指した教育を行うとともに、英語教育、特別支援教育についても幅広く教授する。

2. 教育学科児童教育専攻の特徴

教育学科児童教育専攻では、専門領域に関する大学での理論的な学習と、現場での実践的な学習を特に重視している。各教科の指導法に加え、障害のある子どもの実態とその支援について理解を深める。また、教育実習に加え、インターンシップを通して、小学校・幼稚園の実践についての理解を一層深める。

取得を希望する免許に応じて、2年次より3コース（幼小コース、小特コース、小中コース）に分かれ科目を履修する。授業は基本的にクラス単位で開講されるが、演習や実技中心の授業は、グループ単位で開講されるものもある。3年次の専門演習（ゼミナール）と4年次の卒業研究演習は、少人数による授業が中心となり、学生それぞれの関心・能力に合わせた指導を行う。

3. 教育課程の特色

教育学科児童教育専攻の専門教育科目は、教員として必要な知識・技能について、幅広い領域から、科目を選択できるよう設定されている。各科目は、学年進行に合わせて順序性と体系性に配慮して配置されている。1年次では、主に教育の基礎的事項及び教養的知識を学習する。2年次では、教育の骨組みとなる知識・方法・法規等を学ぶ。3年次では、ゼミ活動を通して、関心のある科目（領域）の知識や理解を深めるとともに、研究を進めるための基礎を学ぶ。4年次では、一連の研究活動を通して、分析力や考察力等を養う。

● 教育学科児童教育専攻専門教育科目の構成

部門	主な内容	開設年次
基礎科目	教育を学ぶことの意義	1年次
基幹科目	教育専門の基礎	1～4年次
初等教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
幼児教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
英語教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
特別支援科目	特別支援に関する知識・技能の習得	1～4年次
心理科目	心理に関する知識・技能の習得	2～4年次
実習科目	教育実習に関する知識・技能の習得	2～4年次
ゼミナール	演習	1・3年次
卒業研究	学びの集大成	4年次

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上を履修しなければならない。

その内訳は一般教育科目（22 単位）、教育学科児童教育専攻専門教育科目（102 単位）である。それぞれについて履修上の要件が定められている。

1) 一般教育科目

一般教育科目は 22 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目（計 22 単位）

- 1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎A」、「情報処理」、「体育実技」
- 2年次：「リベラルアーツ総合A」、「体育講義」
- 4年次：「リベラルアーツスタディーズB」

●選択科目

- 1年次：「日本語演習」、「リベラルアーツ基礎B」
- 2年次：「リベラルアーツ基礎C」、「リベラルアーツ基礎D」
- 3年次：「リベラルアーツ総合B」

●自由科目（卒業要件単位に含まれない）

- 1年次：「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」
- 1～4年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スポーツ」
- 2～3年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
- 3～4年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」
- 3年次：「リベラルアーツスタディーズA」「日本国憲法」
- 4年次：「キャリア形成論」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計で 102 単位以上を履修すること。

教育学科児童教育専攻専門教育科目は、幾つかの科目群に分かれる。それぞれの部門において、履修しなければならない科目が設定されている。卒業に必要な 102 単位は、以下の要件を満たさなければならない。

●教育学科児童教育専攻の卒業要件

下表のように基礎科目群から14単位、基幹科目群から3単位、初等教育科目群から20単位、英語教育科目群から14単位、3コースの中で該当する1コースで指定する14単位、ゼミナール4単位、卒業研究2単位を修得しなければならない。

	科目群	履修方法	単位数
1	基礎科目	教職概論、教育原理、教育制度論、教育心理学、教育課程論、教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）、キリスト教教育論	14
2	基幹科目	「キャリアデザイン」1単位、及びその他「心理学概論、社会福祉概論、学校臨床研究Ⅰ、学校臨床研究Ⅱ、学校臨床研究Ⅲ」の5科目から2単位	3
3	初等教育科目	国語、生活、国語科教育法、生活科教育法、音楽科教育法、図画工作科教育法、家庭科教育法、体育科教育法、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の指導法	20
4	英語教育科目	英語音声教育論、第二言語習得、英語児童文学の世界、English Communication I、English Reading I、English Reading II、異文化理解	14
5	コース	※以下の別表から該当するコースの14単位以上	14
6	ゼミナール	専門基礎演習、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ	4
7	卒業研究	卒業研究演習Ⅰ、卒業研究演習Ⅱ	2

コース名	選択必修科目（14単位以上選択）
幼小コース	社会、算数、理科、外国語、教育相談、保育内容総論、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と環境、幼児と言葉、幼児と音楽表現、幼児と造形表現、保育内容「人間関係」の指導法、保育内容「環境」の指導法、保育内容「言葉」の指導法、幼児理解の理論と方法
小特コース	社会、算数、理科、外国語、生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）、教育相談、特別活動の理論と方法、特別支援教育概論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害教育総論、肢体不自由教育総論、病弱教育総論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、LD・ADHD教育論
小中コース	社会、算数、理科、外国語、生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）、教育相談、特別活動の理論と方法、英語学概論、英語教育セミナー、英米文学概論、English Writing I、English Writing II、Presentation Skills I、Presentation Skills II

◎キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり登録できる単位数は、前期・後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

◆教員免許取得の要件単位

1) 取得できる免許

小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

※取得できる免許は、原則として二つの校種までとする。

ただし、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状をそれぞれ単独で取得することはできず、小学校教諭一種免許状の取得が必要である。

2) 条件となる科目

- a) 教員免許取得のためには、指定された科目の単位を修得しなければならない。必要な科目と単位数が定められており、その要件を満たすように科目履修する。（P113、115、116、117、119、120）
- b) 一般教育科目の日本国憲法（2単位）、情報処理（2単位）、英語コミュニケーションⅠ（1単位）、英語コミュニケーションⅡ（1単位）、体育講義（1単位）、体育実技（1単位）を修得しなければならない。
- c) 小学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状を取得するには、その他に、介護等体験を行うことが必要である。これは、科目ではないため履修登録し単位が認定されるものではないが、授業期間中に社会福祉施設と特別支援学校で計7日間、介護等について体験しなければならない。なお、幼稚園教諭免許状の取得については不要である。
- d) 授業実践力の向上のため「学校授業論A」「学校授業論B」「授業実践研究」を履修すること。

3) 学外実習

a) 教育実習

教員免許を取得するためには、学外で行う教育実習を履修しなければならない。

b) 教育実習の履修要件

教育現場で実習を行うには、そのための最低限の知識や技能を身につけておく必要がある。教育実習を履修するにあたっては、必要な科目を修得していることが条件となる。また、学科による審査を経て、実習の可否を決定する。下表の要件を満たさない場合は、教育実習を行うことはできない。

●教育実習の条件となる科目

実習	事前に修得しておくべき科目	事前又は同時期に履修すべき科目
幼児教育実習Ⅰ（2年次）	教育原理、教育心理学、専門基礎演習、保育内容総論、及びその他、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と環境、幼児と言葉、幼児と音楽表現、幼児と造形表現から3科目3単位以上	教職概論、教育制度論、教育課程論、保育内容「言葉」の指導法、保育内容「音楽表現」の指導法、保育内容「造形表現」の指導法、幼児教育実習指導Ⅰ

<p>幼児教育実習Ⅱ (3年次)</p>	<p>特別支援教育論、教職概論、教育制度論、教育課程論、教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)、保育内容「言葉」の指導法、保育内容「音楽表現」の指導法、保育内容「造形表現」の指導法、幼児教育実習指導Ⅰ、幼児教育実習Ⅰ</p>	<p>教育相談、保育内容「健康」の指導法、保育内容「人間関係」の指導法、保育内容「環境」の指導法、幼児理解の理論と方法、幼児教育実習指導Ⅱ</p>
<p>初等教育実習Ⅰ・Ⅱ (3年次)</p>	<p>特別支援教育論、教職概論、教育原理、教育制度論、教育心理学、教育課程論、教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)、国語、社会、算数、理科、外国語、生活、全教科の教科教育法(10科目)、道德教育の理論と方法、生徒指導の理論と方法(進路指導を含む。)、教育相談、特別活動の理論と方法、専門基礎演習</p>	<p>総合的な学習の時間の指導法、初等教育実習指導</p>
<p>中等教育実習Ⅰ・Ⅱ (4年次)</p>	<p>英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ、生徒指導の理論と方法(進路指導を含む。)、英語学概論、英語音声教育論、英米文学概論、English CommunicationⅠ、English CommunicationⅡ、English CommunicationⅢ、English CommunicationⅣ、English ReadingⅠ、English WritingⅠ、Presentation SkillsⅠ、異文化理解、初等教育実習指導、初等教育実習Ⅰ、初等教育実習Ⅱ</p>	<p>中等教育実習指導</p>
<p>特別支援教育実習 (4年次)</p>	<p>特別支援教育概論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、知的障害教育総論、知的障害者指導法、肢体不自由教育総論、肢体不自由者指導法、病弱者教育総論、病弱者指導法、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、LD・ADHD教育論、初等教育実習指導、初等教育実習Ⅰ、初等教育実習Ⅱ</p>	<p>※3年次開講予定の特別支援教育科目の必修科目6科目のうち、1科目は同時期に履修することを可とする。</p>
<p>学校インターンシップ</p>	<p>「幼児教育実習Ⅱ」「初等教育実習Ⅰ」「初等教育実習Ⅱ」のいずれかの「事前に修得しておくべき科目」とこれに該当する実習指導の科目(「幼児教育実習指導Ⅱ」「初等教育実習指導」)を満たしている場合、および、「中等教育実習Ⅰ」「中等教育実習Ⅱ」のいずれかの「事前に修得しておくべき科目」を満たしている場合に、該当する校種での実施が可能。</p>	

ただし、「初等教育実習Ⅰ」「初等教育実習Ⅱ」については3年前期までに履修した専門教育科目の平均点が80点以上であること。また、「中等教育実習Ⅰ」「中等教育実習Ⅱ」については3年次終了時までに英語検定準2級以上、もしくは、TOEIC 500点以上を取得すること。

3 取得できる免許と資格

小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(英語)、特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)、司書教諭を取得できる他、下記の任用資格(特定の職に就くことで効力を発揮する資格)を取得できる。

- 児童指導員・・・卒業と同時に取得できる。
- 児童福祉司・・・卒業後、指定施設における1年以上の実務経験後に取得できる。
- 児童自立支援専門員・・・
小学校教諭免許状の取得者で、1年以上の実務経験後に取得できる。
- 社会福祉主事・・・
「教育原理」「社会福祉概論」「心理学概論」を修得した上で公務員等に採用後、特定の職務に任用される際に得られる。

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目	
・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目	
必修	◎
選択必修(複数の科目から指定の単位数を必ず選択する)	○
選択(卒業要件単位)	△
自由(卒業要件単位には含まれない)	◇

5 教育課程表

教育学科 児童教育専攻 教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許資格						
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語 中学校	特別 支援	司書 教諭		
一般	MGU スタンダード 科目	◎キリスト教	2	2												
		◎基礎演習	2	2												
		△日本語演習	2	2												
		◎女性と人権	2	2												
		◎自然科学入門	2	2												
		◎音楽の世界	2	2												
		◎英語コミュニケーションⅠ	1	1							◎	◎	◎			
		◎英語コミュニケーションⅡ	1	1							◎	◎	◎			
一般	リベラル アーツ 基礎 科目	◎リベラルアーツ基礎A	2	2				可								
		△リベラルアーツ基礎B	2	2				可								
		△リベラルアーツ基礎C	2		2			可								
		△リベラルアーツ基礎D	2		2			可								
		◎リベラルアーツ総合A	2		2			可								
		△リベラルアーツ総合B	2			2		可								
		◇リベラルアーツスタディーズA	2			2		可								
		◎リベラルアーツスタディーズB	2				2	可								
教育	キャリア 科目	◇キャリア形成論	2				2									
		◎情報処理	2	2						◎	◎	◎				
		◇日本国憲法	2			2				◎	◎	◎				
教育	外国 語 科目	◇ドイツ語コミュニケーションⅠ	1	1												
		◇ドイツ語コミュニケーションⅡ	1	1												
		◇ドイツ語リテラシーⅠ	1	1												
		◇ドイツ語リテラシーⅡ	1	1												
		◇フランス語コミュニケーションⅠ	1	1												
		◇フランス語コミュニケーションⅡ	1	1												
		◇フランス語リテラシーⅠ	1	1												
		◇フランス語リテラシーⅡ	1	1												
		◇中国語コミュニケーションⅠ	1	1												
		◇中国語コミュニケーションⅡ	1	1												
		◇中国語リテラシーⅠ	1	1												
		◇中国語リテラシーⅡ	1	1												
		◇スキルアップ英語	1			1		可								
		◇スキルアップドイツ語	1			1		可								
		◇スキルアップフランス語	1			1		可								
		◇スキルアップ中国語	1			1		可								
教育	科目	◇実践フランス語Ⅰ	2		2		可									
		◇実践フランス語Ⅱ	2			2	可									
		◇実践中国語Ⅰ	2		2		可									
		◇実践中国語Ⅱ	2			2	可									
教育	科目	◎体育実技	1	1						◎	◎	◎				
		◎体育講義	1		1					◎	◎	◎				
		◇シーズンスポーツ	1			1		可								
		◇スポーツ	1			1		可								

教育学科
児童教育専攻

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格					
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語 中学校	特別 支援	司書 教諭	
専 門 基 礎 科 目	◎	教職概論	2		2					◎	◎	◎			
	◎	教育原理	2	2						◎	◎	◎			
	◎	教育制度論	2		2					◎	◎	◎			
	◎	教育心理学	2	2						◎	◎	◎			
	◎	教育課程論	2		2					◎	◎	◎			
	◎	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2		2					◎	◎	◎			
専 門 基 幹 科 目	◎	キリスト教教育論	2	2											
	◎	キャリアデザイン	1	1											
	○	心理学概論	2	2					} 2単位以上選択必修						
	○	社会福祉概論	2	2											
	○	学校臨床研究Ⅰ	1		1			可			△	△			
	○	学校臨床研究Ⅱ	1		1			可			△	△			
○	学校臨床研究Ⅲ	1				1				△	△				
△	特別支援教育論	1		1					◎	◎	◎				
教 育 等 科 目	◎	国語	2	2							○				
	△	社会	2	2							○				
	△	算数	2	2							○				
	△	理科	2	2							○				
	◎	生活	2	2							○				
	△	音楽	2	2							○				
	△	図画工作	2	2							○				
	△	家庭	2	2							○				
	△	体育	2	2							○				
	△	外国語	1	1							◎				
	△	教育史	2	2							△	△			
	△	学校授業論A	2		2										
	△	学校授業論B	2		2										
	△	授業実践研究	2				2				△				
	◎	国語科教育法	2			2					◎				
	△	社会科教育法	2			2					◎				
	△	算数科教育法	2			2					◎				
	△	理科教育法	2			2					◎				
	◎	生活科教育法	2			2					◎				
	◎	音楽科教育法	2		2						◎				
	◎	図画工作科教育法	2		2						◎				
	◎	家庭科教育法	2		2						◎				
	◎	体育科教育法	2		2						◎				
	△	英語科教育法	2			2					◎				
	◎	道德教育の理論と方法	2		2						◎	◎			
	◎	総合的な学習の時間の指導法	2			2					◎	◎			
	△	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2			2					◎	◎			
△	教育相談	2			2					◎	◎	◎			
△	特別活動の理論と方法	2		2						◎	◎				
△	防災教育論	2		2						△					
△	教職実践演習	2				2				◎	◎	◎			

教育学部
児童教育専攻

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭
専門 教育 科目	幼児教育	△ 幼児と健康	1	1						○				
		△ 幼児と人間関係	1	1						○				
		△ 幼児と環境	1	1						○				
		△ 幼児と言葉	1	1						○				
		△ 幼児と音楽表現	1	1						○				
		△ 幼児と造形表現	1	1						○				
		△ 保育内容総論	1	1						◎				
		△ 保育内容「健康」の指導法	2			2				◎				
		△ 保育内容「人間関係」の指導法	2			2				◎				
		△ 保育内容「環境」の指導法	2			2				◎				
		△ 保育内容「言葉」の指導法	2		2					◎				
		△ 保育内容「音楽表現」の指導法	2		2					◎				
		△ 保育内容「造形表現」の指導法	2		2					◎				
		△ 保育実践研究	2				2			△				
	△ 幼児理解の理論と方法	2			2				◎					
	英語教育 科目	△ 英語学概論	2		2							◎		
		◎ 英語音声教育論	2	2								◎		
		◎ 第二言語習得	2		2							△		
		△ 英語教育セミナー	2			2						△		
		△ 英米文学概論	2			2						◎		
		△ 英文学史	2			2						△		
		◎ 英語児童文学の世界	2			2						△		
		◎ English Communication I	2		2							◎		
		△ English Communication II	2		2							◎		
		△ English Communication III	2		2							◎		
		△ English Communication IV	2			2						◎		
		◎ English Reading I	2	2								◎		
		◎ English Reading II	2		2							△		
		△ English Writing I	2			2						◎		
		△ English Writing II	2				2					△		
		△ Presentation Skills I	2			2						◎		
		△ Presentation Skills II	2			2						△		
		◎ 異文化理解	2		2							◎		
教育 科目 目		△ 英語科教育法 I	2	2								◎		
	△ 英語科教育法 II	2		2							◎			
	△ 英語科教育法 III	2		2							◎			
	△ 英語科教育法 IV	2			2						◎			
	△ Overseas Study Preparation	2			2									
	△ Overseas Study	4			4									

教育学科
児童教育専攻

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格					
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭	
専門 支援 科目	特 別 支 援 科 目	△ 特別支援教育概論	2	2									◎		
		△ 知的障害者の心理・生理・病理	2		2									◎	
		△ 肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2									◎	
		△ 病弱者の心理・生理・病理	2		2									◎	
		△ 知的障害教育総論	2		2									◎	
		△ 知的障害者指導法	2			2								◎	
		△ 肢体不自由教育総論	2			2								◎	
		△ 肢体不自由者指導法	2			2								◎	
		△ 病弱教育総論	2			2								◎	
		△ 病弱者指導法	2			2								◎	
		△ 視覚障害教育総論	1		1									◎	
		△ 聴覚障害教育総論	1		1									◎	
		△ 情緒障害教育総論	2				2							◎	
		△ LD・ADHD教育論	2			2								◎	
教育 心理 科目	心 理 科 目	△ 発達心理学	2	2						△	△				
		△ 乳幼児心理学	2		2					△					
		△ 児童青年心理学	2		2						△				
		△ カウンセリング法概説	2			2				△	△				
教育 実 習 科 目	実 習 科 目	△ 特別支援教育実習(事前事後指導を含む)	3				3						◎		
		△ 幼児教育実習指導Ⅰ	1		1					◎					
		△ 幼児教育実習Ⅰ	2		2					◎					
		△ 幼児教育実習指導Ⅱ	1			1				◎					
		△ 幼児教育実習Ⅱ	2			2				◎					
		△ 初等教育実習指導	1			1					◎				
		△ 初等教育実習Ⅰ	2			2					◎				
		△ 初等教育実習Ⅱ	2			2					◎				
		△ 中等教育実習指導	1				1					◎			
		△ 中等教育実習Ⅰ	2				2					◎			
		△ 中等教育実習Ⅱ	2				2					◎			
△ 学校インターンシップ	2				2				△	△	△				
教育 日	ゼ ミ ナ ー ル	◎ 専門基礎演習	2	2											
		◎ 専門演習Ⅰ	1			1									
		◎ 専門演習Ⅱ	1			1									
教育 日	卒 業 研 究	◎ 卒業研究演習Ⅰ	1				1								
		◎ 卒業研究演習Ⅱ	1				1								
司書 教諭 に 関 する 科 目	司 書 教 諭 に 関 する 科 目	◇ 学校経営と学校図書館	2			2							◎		
		◇ 学校図書館メディアの構成	2			2							◎		
		◇ 学習指導と学校図書館	2			2							◎		
		◇ 読書と豊かな人間性	2			2							◎		
		◇ 情報メディアの活用	2			2							◎		
計	計	一般教育科目	64												
		専門教育科目	218												
		司書教諭に関する科目	10												
		合 計	292												

教育学部
教育学科
児童教育専攻

教育学科 健康教育専攻

1 専門教育科目の構成

1. 教育学科健康教育専攻の教育目的

教育学科健康教育専攻は、養護教諭や保健体育教諭など、今日の子どもたちが抱える健康課題を熟知し、子どもや保護者、社会のニーズに応え、子どもの発達を適切に支援できる専門家の育成を目指している。子どもたちの教育や発達、健康諸科学に関する専門的な知識や技能、教師としての実践的な知識や技能を基礎から学び、それらを教育や養護、看護などの実習体験を経る中で、生きた専門知識や技能として修得し、実践の場で活用する方法を身につけることが目標となる。

また狭い専門に留まることなく、関連する専門領域の科目も広く学び、幅広い教養も身に付けることで、物事に対する多様な見方・視点を養い、子どもたちの健康を多面的に理解できる専門家、確かな専門性に裏打ちされた健康教育の専門家を育成する。

2. 教育学科健康教育専攻の特徴

教育学科健康教育専攻では学校教育全体を深く理解し、子どもの多様な健康課題に寄り添える養護教諭を目指す。また中学・高校の保健体育教員養成課程も開設しており、より総合的な観点から健康教育に取り組む人材を育成できる。

教育学科健康教育専攻は教育や養護、看護などの諸現場の現状と課題を踏まえた理論的な学習と、諸現場での実践的な学びを重視している。この理論と実践の相互的の学びを通して、確かな専門性に裏付けられた、即戦力としての能力が身に付くようになっている。また参加型の少人数教育が行われることにより、知識・技能を活用する能力や批判的・論理的な思考力、課題解決力、表現力そして教師としての人間力の育成が目指され、教育者としての総合的な力量形成に資するようになっていることを特徴としている。

3. 教育課程の特色

教育学科健康教育専攻の教育課程は、一般教育科目、専門教育科目に大別される。一般教育科目は、社会が抱える様々な課題など専門領域とは異なる領域に目を向けさせ、学生の物事を考える視点の多様化に資するであろうし、また大学での学び方など実践的な学びも提供してくれるだろう。一方、専門教育科目は、1年次では教育について幅広く学び、健康教育に必要な基礎的な知識と技能を修得する。2年次以降は健康教育に関わる専門的な知識や技能を高め、教育現場など各実践の場を経験する中で、実践力を磨いていく。4年次には「教育実習」「養護実習」を通して実践力を確かなものにするとともに、「卒業研究」によって、4年間の学びを完成させることになる。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、かつ合計124単位以上を履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は32単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目（計32単位）

- 1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎A」、「情報処理」、「体育実技」
- 2年次：「英語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎D」、「リベラルアーツ総合A」、「体育講義」
- 3年次：「リベラルアーツ総合B」、「リベラルアーツスタディーズA」
- 4年次：「リベラルアーツスタディーズB」

●選択科目

- 1年次：「リベラルアーツ基礎B」
- 2年次：「リベラルアーツ基礎C」

●自由科目（卒業要件単位に含まれない）

- 1年次：「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」
- 1～4年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スポーツ」
- 2～3年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
- 3～4年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」
- 3年次：「日本国憲法」
- 4年次：「キャリア形成論」

※「日本国憲法」は教員免許状取得上、必修。

2) 専門教育科目

専門教育科目は以下の要件を満たし、合計で92単位以上履修すること。

- ①専門教育科目：基礎科目の「教育と共生社会」等全5科目：3単位
 - ②専門教育科目：基幹科目のうち必修科目「キャリアデザイン」1単位を含め、3単位以上
 - ③専門教育科目：ゼミナール6単位
 - ④専門教育科目：卒業研究8単位
- ①～④の合計：20単位

残り72単位の専門教育科目は、上記科目以外の専門教育科目から任意に選択し履修する。ただし後掲の教育課程表中の「卒業要件」に「◇」印のついた「就職に関する科目」は卒業要件単位ではないので、それらを含めることはできない。

3) 学外実習について

免許や資格を取得するためには、学外実習を履修しなければならないが、その実習に対応した知識や技能が要求される。そのため学外施設での実習を履修する

要件となる科目を定める。それらの科目の単位（事前または同時期に受講）を取得していなければ原則的に実習を受けることができない。

履修要件となる科目一覧

○養護教諭一種免許状

- 「臨床看護実習」（3年次2月頃）の要件科目

養護に関する科目
「学校看護学」、「看護学実習Ⅰ」、「看護学実習Ⅱ」

- 「養護実習」（4年次前期）の要件科目

教育の基礎的理解に関する科目等
「教育原理」、「教職概論」、「教育制度論」、「教育心理学」、「特別支援教育論」、「教育課程論」、「教育課程特論」、「教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）」、「生徒指導B」、「教育相談」

養護に関する科目
「栄養学（食品学を含む）」、「解剖生理学」、「生理学」、「学校保健」、「学校看護学」、「養護概説」、「看護学実習Ⅰ」、「看護学実習Ⅱ」

※併せて「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

○中学保健体育教諭一種免許状

- 「教育実習」（4年次前期または後期）の要件科目

教育の基礎的理解に関する科目等
「教育原理」、「教職概論」、「教育制度論」、「教育心理学」、「特別支援教育論」、「教育課程論」、「道徳教育の理論と方法」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別活動の理論と方法」、「教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）」、「生徒指導A（進路指導を含む）」、「教育相談」、「保健体育科教育法Ⅰ」、「保健体育科教育法Ⅱ」、「保健体育科教育法Ⅲ」、「保健体育科教育法Ⅳ」

教科に関する専門的事項
「スポーツ実技A・B・C・D」、「子どもの保健」、「体育原理」、「体育心理学」、「体育経営管理学」、「体育社会学」、「運動学」、「生理学」、「衛生学」、「公衆衛生学」、「精神保健」、「救急処置（救急看護法）」、「学校保健」

※併せて「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

○高等学校保健体育教諭一種免許状

教育の基礎的理解に関する科目等
「教育原理」、「教職概論」、「教育制度論」、「教育心理学」、「特別支援教育論」、「教育課程論」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別活動の理論と方法」、「教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）」、「生徒指導A（進路指導を含む）」、「教育相談」、「各教科教育法Ⅰ」、「各教科教育法Ⅱ」

教科に関する専門的事項
「スポーツ実技A・B・C・D」、「子どもの保健」、「体育原理」、「体育心理学」、「体育経営管理学」、「体育社会学」、「運動学」、「生理学」、「衛生学」、「公衆衛生学」、「精神保健」、「救急看護法」、「学校保健」

※併せて「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

●キャップ制について

全体の学修計画（P.20）に記載されているように、授業の予習や復習など教室外で行う学習の時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。1年度あたり登録できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

3 取得できる免許と資格

健康教育専攻では、次の免許状と資格を取得することができる。

- ・養護教諭一種免許状
- ・中学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・任用資格：社会福祉主事、児童指導員、児童福祉司、児童自立支援専門員、放課後児童支援員
- ・赤十字ベシックライフサポーター認定証
- ・赤十字救急法救急員（赤十字ファーストエイドプロバイダー）認定証

4 教育課程表の記号について

- ・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目
- ・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必修	◎
選択必修（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）	○
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	◇

5 教育課程表

教育学科健康教育専攻教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体 (中学校)	保体 (高校)	養護	
一般	MGU スタンダード 科目	◎キリスト教 学	2	2									
		◎基礎 演 習	2	2									
		◎日 本 語 演 習	2	2									
		◎女 性 と 人 権	2	2									
		◎自 然 科 学 入 門	2	2									
		◎音 楽 の 世 界	2	2									
		◎英 語 コミュニケーション I	1	1						◎	◎	◎	
		◎英 語 コミュニケーション II	1	1						◎	◎	◎	
		◎英 語 リテラシー I	1		1								
		◎英 語 リテラシー II	1		1								
教 育 科	リベラルアーツ 基幹科目	◎リベラルアーツ基礎 A	2	2				可					
		△リベラルアーツ基礎 B	2	2				可					
		△リベラルアーツ基礎 C	2		2			可					
		◎リベラルアーツ基礎 D	2		2			可					
		◎リベラルアーツ総合 A	2		2			可					
		◎リベラルアーツ総合 B	2			2		可					
		◎リベラルアーツスタディーズ A	2			2		可					
		◎リベラルアーツスタディーズ B	2				2	可					
キ 科 リ ア 日	◇キ ャ リ ア 形 成 論	2				2							
		◎情 報 処 理	2	2						◎	◎	◎	
		◇日 本 国 憲 法	2			2				◎	◎	◎	
外 国 語 科	◇	ドイツ語コミュニケーション I	1	1									
		ドイツ語コミュニケーション II	1	1									
		ドイツ語リテラシー I	1	1									
		ドイツ語リテラシー II	1	1									
		フランス語コミュニケーション I	1	1									
		フランス語コミュニケーション II	1	1									
		フランス語リテラシー I	1	1									
		フランス語リテラシー II	1	1									
		中国語コミュニケーション I	1	1									
		中国語コミュニケーション II	1	1									
		中国語リテラシー I	1	1									
		中国語リテラシー II	1	1									
		◇スキルアップ英語	1			1		可					
		◇スキルアップドイツ語	1			1		可					
		◇スキルアップフランス語	1			1		可					
		◇スキルアップ中国語	1			1		可					
		日 本 語 科	◇	実践 フランス語 I	2		2		可				
				実践 フランス語 II	2			2	可				
実践 中国語 I	2				2		可						
実践 中国語 II	2					2	可						
体 育 科	◎	体 育 実 技	1	1						◎	◎	◎	
		体 育 講 義	1		1					◎	◎	◎	
		◇シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1			1		可					
		◇ス ポ ー ツ	1				1	可					

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体 (中学校)	保体 (高校)	養護	
専	基礎科目	○ 教育と共生社会	1	1					} 1単位以上選択必修				
		○ 教育と伝統文化	1	1									
		○ 教育と「学び」	1	1									
		○ 教育と現代社会	1	1									
		◎ キリスト教教育論	2	2									
門	基礎科目	◎ キャリアデザイン	1		1								
		△ 子どもの保健	2	2					◎	◎			
		○ 心理学概論	2	2					} 2単位以上選択必修				
		○ 社会福祉概論 I	2	2									
		○ 学校臨床研究 I	1		1			可			△	△	△
		○ 学校臨床研究 II	1		1			可			△	△	△
教 育 学 校 教 育 科 目	学 校 教 育 目	△ 発達心理学	2	2						△	△	△	
		△ 国語	2	2									
		△ 社会	2	2									
		△ 算数	2	2									
		△ 理科	2	2									
		△ 教育史	2	2									
		△ 学校授業論 A	2		2					△	△		
		△ 学校授業論 B	2			2						△	
		◎ 教育原理	2	2						◎	◎	◎	
		◎ 教育制度論	2	2						◎	◎	◎	
		◎ 教職概論	2	2						◎	◎	◎	
		◎ 教育心理学	2		2					◎	◎	◎	
		◎ 教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2		2					◎	◎	◎	
		◎ 教育相談	2			2				◎	◎	◎	
		◎ 道徳教育の理論と方法	2		2					◎	△		
		◎ 特別活動の理論と方法	1		1					◎	◎		
		△ 総合的な学習の時間の指導法	1		1					◎	◎		
		△ 教育課程論	1		1					◎	◎	◎	
		△ 教育課程論 (道徳・総合的な学習の時間・特別活動)	1		1					◎	◎	◎	
		△ 生徒指導 A (進路指導を含む)	2		2					◎	◎		
		△ 生徒指導 B	2		2							◎	
		△ 授業実践研究 A	2				2			△	△		
		△ 授業実践研究 B	2				2					△	
		育 特 別 科 目	特 別 科 目	△ 特別支援教育概論	2	2							
				◎ 特別支援教育論	1		1				◎	◎	◎
				△ 情緒障害教育総論	2			2					
				△ ADHD教育論	2			2					
△ LD教育論	2					2							
科 保 健 ・ 養 護 科 目	保 健 ・ 養 護 科 目	△ 精神保健	2		2					◎	◎	◎	
		△ 衛生学	2	2						◎	◎	◎	
		△ 公衆衛生	2		2					◎	◎	◎	
		△ 学校保健	2		2					◎	◎	◎	
		△ スポーツ実技 A	1		1			可		◎	◎		
		△ スポーツ実技 B	1		1			可		◎	◎		
		△ スポーツ実技 C	1		1			可		◎	◎		
		△ スポーツ実技 D	1		1			可		◎	◎		
		△ 体育原理	2	2						◎	◎		
		△ 体育心理学	2		2					◎	◎		
		△ 体育経営学	2			2				◎	◎		
		△ 体育社会学	2			2				◎	◎		
		△ 運動学	2		2					◎	◎		
		△ コーチング論	2		2					△	△		
		△ トレーニング論	2		2					△	△		
日	目	△ 体力測定法	2		2					△	△		
		△ 生理学	2		2					◎	◎	◎	
		△ 救急処置 (救急看護法)	2			2				◎	◎	◎	
		△ 健康相談	2			2						◎	
		△ 養護概論	2			2						◎	

健康教育学専攻
教育学科

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格		
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体 (中学校)	保体 (高校)	養護
専門	保健・養護科目	△保健教育法	2			2						
		△栄養学(食品学を含む)	2		2							◎
		△解剖生理学	2	2								◎
		△免疫学	2			2						◎
		△教育研究調査法	2			2						
		△養護実践学概論	2	2								
		△養護実践演習	2		2							
		△学校保健史	2		2							
		△健康教育社会学	2		2							
		△基礎医学(こどもの健康課題)A	2		2							△
		△基礎医学(こどもの健康課題)B	2			2						△
		△学校看護学	2		2							◎
教育	心理科目	△学習心理学	2			2						
		△認知心理学	2				2					
		△臨床心理学	2		2							
		△児童青年心理学	2		2							
		△家族心理学	2			2						
		△カウンセリング法概説	2			2				△	△	△
育	福祉科目	△カウンセリング法演習	2			2					△	
		△社会学	2	2								
		△社会福祉概論Ⅱ	2			2						
		△ソーシャルワークの基礎Ⅰ	2		2							
		△ソーシャルワークの基礎Ⅱ	2		2							
		△社会保障論Ⅰ	2		2							
科	実習科目	△社会保障論Ⅱ	2		2							
		△公的扶助論	2			2						
		△臨床看護実習	4			4					◎	
		△看護学実習Ⅰ	2		2						◎	
		△看護学実習Ⅱ	2			2					◎	
		◎専門基礎演習	2	2								
目	卒業研究	◎専門演習Ⅰ	2			2						
		◎専門演習Ⅱ	2			2						
		◎卒業研究	4			4						
教職に関する科目		◇保健体育科教育法Ⅰ	2		2				◎	◎		
		◇保健体育科教育法Ⅱ	2		2				◎	◎		
		◇保健体育科教育法Ⅲ	2			2			◎	△		
		◇保健体育科教育法Ⅳ	2			2			◎	△		
		◇教職実践演習(中・高)	2				2		◎	◎		
		◇教職実践演習(養護教諭)	2				2				◎	
		◇教育実習A(事前事後指導を含む)	5				5		◎	※		
		◇教育実習B(事前事後指導を含む)	3				3			◎		
計		◇養護実習(事前事後指導を含む)	5				5				◎	
		一般教育科目	66									
		専門教育科目	176									
		教職に関する科目	25									
		合計	267									